

第173話 本町域の私塾・寺子屋② 中山町歴史散策

正法寺については焼け残った山門右手にある酬恩碑によってその概要を知ることが出来ます。碑は明治34年9月、門人の縄野善治、西堀才太郎、村山長松らによって建立されています。それによれば師は同寺三六世祐仁であって、生誕は寒河江白岩の慈恩寺の某院で、正法寺の住職に入り、子弟に初学を学ばせたといえます。檀家の中以外にも、元町はもちろん上町や北小路などの西方の町からの子弟の入門も多く、常に50人を超す子弟もたちで溢れていました。

読本に用いられたのは『商売往来』『庭訓往来』などでしたが、学習が進むにつれて、『実語教』『童子教』なども使用されました。四書等は高学年に限られ、暗誦、反復が主でした。

さらに簡単な数学や書き方も教授されており、特に礼儀作法なども厳しく躰されたのは他地方の寺子屋と同様でした。師は明治33年8月中旬頃まで生存されており、享年59歳の秋この世を去りました。

【用語説明】

『実語教』『童子教』…日本の初等教育用の教訓書。子どもが身に付けるべき基本的な素養や、仏教的、儒教的な教えが盛り込まれている。四書…儒教の経書のうち『論語』『大学』『中庸』『孟子』の4つの書物を総称したものの。

『暗誦』…暗唱と同じ。書いてある文章を頭に記憶し、それを見ないで文章を声に出して唱えること。

※引用 中山町史 中巻

第10章第2節 教育

【お詫びと訂正】

次の2点について、訂正してお詫びします。

①広報なかやま10月号の歴史散策の題目に「元町域の私塾・寺子屋」とありますが、正しくは「本町域の私塾・寺子屋」となります。

②下段6行目に「今は復興の途上にあります」とありますが、平成16年に本堂・位牌堂が再建されました。

私たち地域おこし協力隊です！ No.41

伊藤コラム ～人と人をつなぐ～

皆さんこんにちは。地域おこし協力隊の伊藤です。

ご存じの方もいらっしゃると思いますが5月から「みらくるラジオなかやま」というYouTubeラジオを始めました。

「みらくるラジオなかやま」の目的は、大きく2つあります。それは「中山町の見える化」と「ICTを活用した新しいコミュニティの創造」です。中山町でさまざまな活動に取り組まれている方を紹介したり、町外の方々も含めてさまざまな方にご出演いただき、そこから新しい出会いや取り組みにつながっています。右の写真は、10月にご出演いただいた柏倉元太さんです。

今後は、「みらくるラジオなかやま」を通じたイベント開催、新しいコミュニティの創造を通して、中山町の人、物、お金の流れをつくり、中山町の地域振興につながる活動を展開していきたいと考えています。

「みらくるラジオなかやま」へのご出演を希望する方は、伊藤までご連絡ください。

皆様、今後ともよろしくお願ひします。



筆者(左)と柏倉 元太さん(右)

●協力隊への問い合わせ先● 伊藤 ☎662-2114 (産業振興課) / 稲垣 ☎662-2235 (教育課)